

●一般社団法人日本MOT振興協会 設立発起人会、設立総会・理事会

一般社団法人日本MOT振興協会は、3月2日午後、東京・丸の内の日本工業倶楽部会館において、「設立発起人会、設立総会・理事会」と、「設立披露パーティー」を開催した。

前段の設立発起人会、設立総会・理事会では、初代会長に有馬朗人（財）日本科学技術振興財団会長・科学技術館館長・武蔵学園長を選任し、有馬会長が議長を務め、①理事及び監事の選任、②定款の承認、③設立趣意書、設立発起人名簿、④初年度事業計画（案）及び収支予算書（案）、⑤委員会構成と運営企画、⑥事務所の設置——について審議を行い、議案のすべてを承認した。

その後、設立披露パーティーに移り、冒頭、有馬会長、来賓代表の林芳正自民党参議院議員、藤末健三民主党参議院議員がそれぞれ挨拶し、鶴田卓彦日本経済新聞社・元社長が挨拶と乾杯の音頭を行った。（司会は、副会長の児玉文雄芝浦工業大学大学院教授が務めた）。会場には、政界、産業界、官界、学界、などのトップや専門家など約170名が出席し、世界同時不況のもとだが、深刻な世界不況を打開し、日本が世界のリーダー役として生きていくための戦略的な決め手が、MOT（技術経営）とイノベーションにかかっているだけに、会場は、前向きで意欲的な雰囲気終始した。

この結果、科学技術、産業技術に関心が強い各界のトップリーダー47名の設立発起人を中心に、2年余りに渡り、設立準備を進めてきた一般社団法人日本MOT振興協会が正式に発足した。